

経営比較分析表（令和元年度決算）

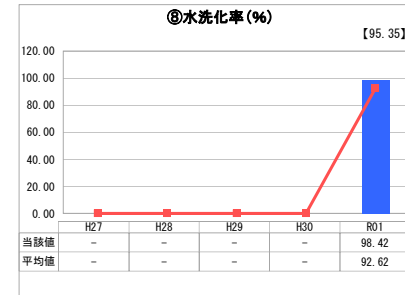
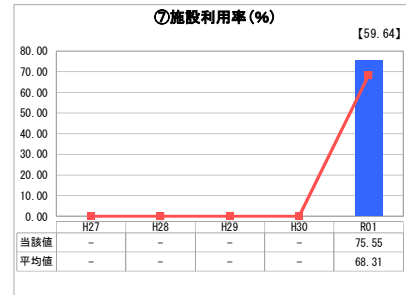
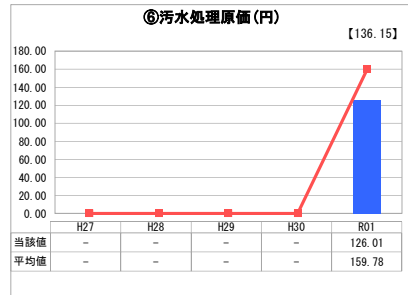
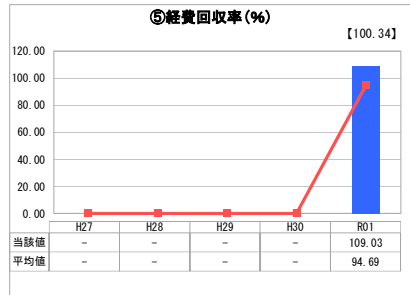
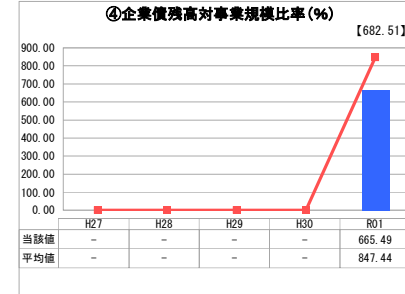
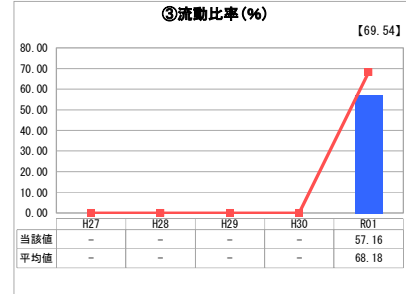
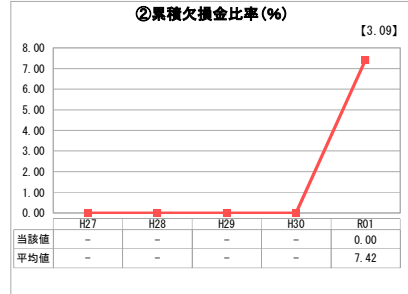
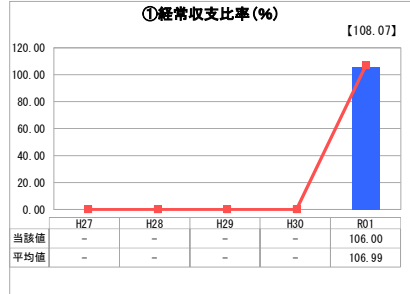
埼玉県 東松山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	79.98	49.57	78.05	2,035

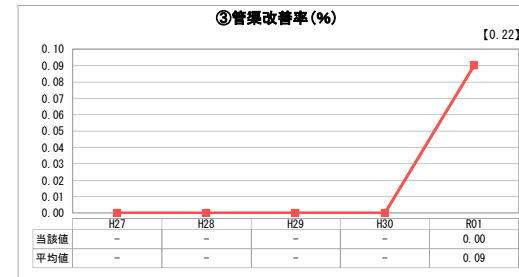
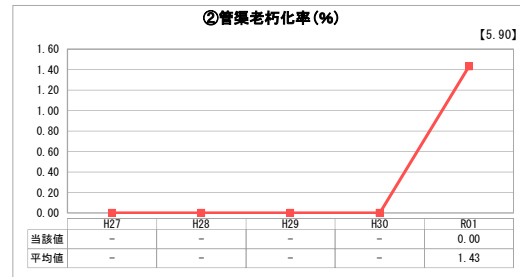
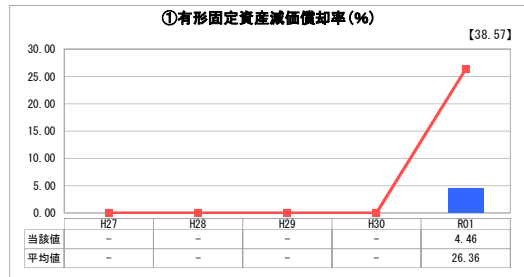
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
90,348	65.35	1,382.52
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
44,710	9.98	4,479.96

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
今年度は100%を上回っているが、今後の更新投資等に充てるため引き続き財源確保に努める。
- ② 累積欠損金比率
該当なし
- ③ 流動比率
今年度は100%を下回っており、その主な要因として今年度地方公営企業法を適用したため、現金の保有が少ないことにある。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
下水道事業開始当初の借入について償還が終了しつつある状況であり、類似団体の平均値を下回っている。
- ⑤ 経費回収率
今年度は100%を上回っており、汚水処理費用が下水道使用料で賄えている。
- ⑥ 汚水処理原価
類似団体の平均値を下回っているが、今後、汚水処理費用の増加が見込まれるため、それに対する財源確保に努める。
- ⑦ 施設利用率
類似団体の平均値を上回っている。今後、未整備区域の解消を進めることで更なる利用率の増加が見込まれる。
- ⑧ 水洗化率
類似団体の平均値を上回っている。今後、下水道整備を進めるにあたり、速やかな接続を促進し100%を目指していく。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
類似団体の平均値を下回っているが、ストックマネジメント計画や長寿命化計画等をもとに資産管理をしていく。
- ② 管渠老朽化率及び③ 管渠改善率
該当数値はないが、ストックマネジメント計画や長寿命化計画等をもとに資産管理をしていく。

全体総括

地方公営企業法を適用して初めての決算を迎えたが、経常収支比率及び経費回収率ともに100%を超えており、下水道使用料等にて賄えていることが分かる。また、管渠老朽化率及び管渠改善率ともに0%であることより、健全かつ適正な事業運営がなされていると判断できる。

今後は耐用年数を超える資産が発生することによる更新事業費等の増加及び人口減少等に伴う使用料収入の減少が予想される。今年度策定する経営戦略のもとに、収益性を確保し、将来にわたり持続可能で安定した事業運営を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。